

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月22日

上場取引所 大

上場会社名 ゴメス・コンサルティング株式会社

コード番号 3813 URL <http://www.gomez.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員CEO兼COO (氏名) 森澤 正人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO 管理部長 (氏名) 五関 智紀

TEL 03-6229-0581

四半期報告書提出予定日 平成21年2月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第3四半期 | 301 | — | △41 | — | △35 | — | △21 | — |
| 20年3月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | △1,479.71 | — |
| 20年3月期第3四半期 | — | — |

(注1)前事業年度(平成20年3月期)は決算期変更により平成19年1月1日から平成20年3月31日までの1年3ヵ月となっております。このため、前年同四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)の数値については、前事業年度の「四半期財務・業績の概況」で開示した数値がありませんので、記載しておりません。

(注2)当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|---|------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 21年3月期第3四半期 | 1,496 | — | 1,442 | — | 96.4 | — | 98,348.78 | |
| 20年3月期 | 1,553 | — | 1,481 | — | 95.4 | — | 101,028.49 | |

(参考)自己資本 21年3月期第3四半期 1,442百万円 20年3月期 1,481百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|----------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | 1,200.00 | — | 1,200.00 | 2,400.00 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

なお、当社の配当基準日は第2四半期末日及び期末日であります。現時点では期末日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----|---|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 470 | — | 12 | — | 20 | — | 22 | — | 1,499.97 |

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等)の変更に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 14,667株 20年3月期 14,667株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1株 20年3月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 14,667株 20年3月期第3四半期 1株

(注)前年同四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)の期中平均株式数(四半期累計期間)については、前年同四半期の1株当たり四半期純利益を算定しておりませんので、記載しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 期末日における配当予想額は現時点では未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

3. 前事業年度(平成20年3月期)は決算期変更により平成19年1月1日から平成20年3月31日までの1年3ヵ月となっております。このため、「3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)」における対前期の増減率は記載しておりません。

4. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

前事業年度（平成20年3月期）は決算期変更により平成19年1月1日から平成20年3月31日までの1年3ヵ月となっております。このため、前年同四半期（平成19年4月1日～平成19年12月31日）の数値については、前事業年度の「四半期財務・業績の概況」で開示した数値がありませんので、記載していません。

当第3四半期（9ヵ月）の国内経済は、米国の信用力の低い個人向け住宅融資（サブプライムローン）問題に端を発した金融危機の影響が实体经济にも及んだ結果、企業の規模を問わず、景況感が大幅に悪化する状況となりました。このため、金融をはじめとした大手企業を中心にサービス提供を行ってきた当社においても、顧客企業における支出抑制傾向が強まる状況となりました。

このような中、当社は、当社へのサービス需要を開拓するため、Webサイトの表示速度高速化コンサルティング、環境配慮型Webサイトの構築や業務フロー改善コンサルティング等の新しい切り口での提案を強化したことに加え、定期的なセミナー開催や積極的なプレスリリースによる当社サービスの認知度向上・顧客獲得策の強化を行いました。しかしながら、当第3四半期（9ヵ月）においては、上記の取組みが十分な成果をあげるには至りませんでした。

この結果、当第3四半期（9ヵ月）の売上高は、301百万円となりました。損益の状況については、売上高が低迷したことにより、人件費等の固定費負担を賄うことができず、営業損失41百万円、経常損失35百万円、四半期純損失21百万円となりました。

なお、平成20年3月に取得した株式会社ユニメディアの株式を売却したことに伴い、投資有価証券売却益17百万円を特別利益として計上しております。

サービス別売上高内訳

| | 当第3四半期（9ヵ月） （自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日） | |
|---|---|--------|
| | 金額（百万円） | 構成比（%） |
| サイト構築コンサルティング（Webサイトの制作業務） | 100 | 33.3 |
| アドバイザー（Webサイト改善のための分析・アドバイス業務） | 88 | 29.4 |
| SEO（Search Engine Optimization、検索エンジン対策業務） | 53 | 17.8 |
| GPN（Gomez Performance Networks、Webサイトの表示速度測定業務） | 34 | 11.4 |
| サポート（Webサイトの修正・更新業務） | 23 | 7.8 |
| その他 | 0 | 0.3 |
| 合計 | 301 | 100.0 |

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は1,496百万円となり前事業年度末比57百万円の減少となりました。営業債務の減少、配当金支払い及び納税により現金及び預金が減少したことが要因です。

また、当第3四半期末の純資産は1,442百万円となり前事業年度末比39百万円の減少となりました。配当金の支払い及び当第3四半期累計の損失によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は872百万円となり、前事業年度末比10百万円の減少となりました。売上債権の増加及び法人税等の支払いにより営業活動によるキャッシュ・フローが60百万円減少しています。また、投資有価証券の売却により投資活動によるキャッシュ・フローが67百万円増加し、配当金の支払いにより財務活動によるキャッシュ・フローが17百万円減少しています。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年11月26日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。ただし、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。なお、これによる損益への影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|------------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 872,794 | 883,503 |
| 受取手形及び売掛金 | 79,061 | 71,987 |
| 有価証券 | 500,000 | 500,000 |
| 前払費用 | 4,726 | 6,350 |
| 繰延税金資産 | — | 2,773 |
| その他 | 4,769 | — |
| 流動資産合計 | 1,461,352 | 1,464,616 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,207 | 4,541 |
| 無形固定資産 | 493 | 733 |
| 投資その他の資産 | 29,120 | 79,369 |
| 固定資産合計 | 32,821 | 84,644 |
| 繰延資産 | 1,940 | 4,412 |
| 資産合計 | 1,496,115 | 1,553,672 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 17,846 | 23,952 |
| 未払金 | 33,073 | 28,948 |
| 未払法人税等 | 274 | 11,792 |
| 未払消費税等 | — | 4,540 |
| 前受収益 | 2,438 | 1,801 |
| 預り金 | — | 851 |
| 流動負債合計 | 53,633 | 71,887 |
| 負債合計 | 53,633 | 71,887 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 613,667 | 613,667 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 458,902 | 458,902 |
| 資本剰余金 | 458,902 | 458,902 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 240 | 240 |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 369,671 | 408,975 |
| 利益剰余金 | 369,911 | 409,215 |
| 株主資本合計 | 1,442,481 | 1,481,784 |
| 純資産合計 | 1,442,481 | 1,481,784 |
| 負債純資産合計 | 1,496,115 | 1,553,672 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 301,822 |
| 売上原価 | 228,668 |
| 売上総利益 | 73,154 |
| 販売費及び一般管理費 | 115,082 |
| 営業損失(△) | △41,928 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,165 |
| 有価証券利息 | 7,766 |
| 営業外収益合計 | 8,932 |
| 営業外費用 | |
| 株式交付費償却 | 2,471 |
| 営業外費用合計 | 2,471 |
| 経常損失(△) | △35,468 |
| 特別利益 | |
| 投資有価証券売却益 | 17,500 |
| 特別利益合計 | 17,500 |
| 税引前四半期純損失(△) | △17,968 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 712 |
| 法人税等調整額 | 3,022 |
| 四半期純損失(△) | △21,702 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) |
|---------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純損失(△) | △17,968 |
| 減価償却費 | 1,574 |
| 株式交付費償却 | 2,471 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,932 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △17,500 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △7,074 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △6,106 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | 871 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | △1,766 |
| 小計 | △54,430 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6,411 |
| 法人税等の支払額 | △12,589 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △60,608 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 投資有価証券の売却による収入 | 67,500 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 67,500 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 配当金の支払額 | △17,600 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △17,600 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △10,708 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 883,503 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 872,794 |

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。